

# 令和3年度第1回大田区環境審議会（書面開催）に係る委員意見について（案）

## 議事1 大田区環境アクションプラン骨子（案）について

### 1 議事に関する質問・要望

分類	議事に関する質問・要望
全体	<p>① 2030年の温室効果ガス削減に向けた日本の国際公約の記述追加 資料1「6 計画における見直しの視点」の「国の関連施策等」の中に、4月に米国で開催された気候変動サミットにおける2030年までの日本の温室効果ガス削減目標（対2013年度比46%削減）を国際公約したことについても、記述を追加した方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>② 新しい生活様式（with、after コロナ）への対応も必要に応じて講じられた方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>③ アクションプランを作成していくにあたり、区民の方々が興味を持てるよう、参考となる取組事例等をコラムで挿入することも検討すると良いのではないのでしょうか。</p> <p>④ テーマ毎の現状値、問題点、今回目標の数値化は別途示されるのでしょうか。</p> <p>⑤ 大田区の地域性・特性をテーマの一つとして、地域による視点を意識することが必要ではないのでしょうか。</p>
基本目標 A 環境課題解決 に向けたパート ナーシップ の推進	<p>① 参考資料について、大変分かりやすく大田区民として取り組む内容が整理されていると思います。ここに示されている施策について区民の皆様が取り組まれる成果を確認する上で、アクションプランの中に示される定量的な管理指標とリンクするよう配慮すると良いのではないかと思います。今後の管理指標の選定にあたって検討すべきと考えます。特に、新たな環境課題への対応ということも重要な柱になっていますので、例えばプラスチック廃棄物の削減や食品ロスに関する政策に関する定量的な管理指標を掲げると分かりやすくなると思います。</p> <p>② ともに行動するという観点から、従来の基本目標 A と F を統合し、パートナーシップの強化という目標に重点をおくことが明確になり良いと思います。ですが、従来の目標 A には、産業と環境の調和という目標の中に、大田区の産業を、積極的にグリーン経済をけん引する経済に変えていくという目標が含まれていたように思います。この側面が、新しい目標の体系の中で見えにくくなってしまったように思います。</p> <p>③ 資料3-Aについて、現行計画において、F-3(1)①に記載されていた「おおたエコプラザの開設」は、削除されたと考えてよいのでしょうか。区民の関心の高い施設ではないのでしょうか。</p> <p>④ 資料3-A-2の区民・事業者・行政の連携強化において、行政と区民、行政と事業者との二者間の連携に比べ区民と事業者（または行政を含む三者）の連携が少ない様に思える。この視点からの具体的な施策内容も検討をお願いしたいと思います。</p>

<p>基本目標 B 気候変動緩和策の推進</p>	<p>① 今後、2050年までに脱炭素を目指すとするならば、基本目標 B の取組方針や施策にある「低炭素」の表現のままで良いかどうか、2030年とその先の2050年をにらんで令和6年（2024年）の削減目標値をどこに設定するのかを慎重に検討する必要があると思います。</p> <p>② 中央防波堤埋立て地に関し、大田区への帰属となったエリアは、「空と海における物流機能エリア」となるようですが、環境面でもしっかりとした対策が望まれるところで</p> <p>③ アクションプランにおいて、基本目標 B を「気候変動緩和策の推進」と名称変更することですが、概念的にはそのほうが正確なのかもしれませんが、「低炭素社会」あるいは「カーボンニュートラル」のほうが直感的で良かったようにも思います。名称変更する強い理由はあるのでしょうか。</p> <p>④ 基本目標 B や基本目標 E において、一般区民が生活のなかで何をすれば良いかをイメージ出来る、またはそれを考える場作りなどの具体的な施策を検討してもらえないでしょうか。</p>
<p>基本目標 C 自然共生社会の構築</p>	<p>① 次期生物多様性国家戦略が検討されているようですが、その結果を踏まえた地域戦略の検討が今後必要になるかと思えます。また現行戦略の検証が必要ではないでしょうか。</p> <p>② 基本目標 C または基本目標 D において、社会的な注目度から見るとマイクロプラスチック問題との表現を入れた取組が欲しいと思えますが、いかがでしょうか。</p>
<p>基本目標 D 快適で安全な暮らしの実現</p>	<p>① 基本目標 C または基本目標 D において、社会的な注目度から見るとマイクロプラスチック問題との表現を入れた取り組みが欲しいと思えますが、いかがでしょうか。（再掲）</p>
<p>基本目標 E 循環型社会の構築</p>	<p>① 基本目標 B や基本目標 E において、一般区民が生活のなかで何をすれば良いかをイメージ出来る、またはそれを考える場作りなどの具体的な施策を検討してもらえないでしょうか。</p>
<p>気候変動 適応方針</p>	<p>① 第4章に大田区気候変動適応方針を加えることも、良いことだと思いますが、気候変動の影響と将来予測について洪水リスクについて含めることはできないでしょうか。</p> <p>② 気候変動リスクの評価とそれへの備えは、企業にもとめられるようになって来ているのではないかと思います。その場合の気候変動リスクは、大田区のローカル範囲を超えたグローバルなリスクを含んでいると思います。大企業と取引のある中小企業も、そのことと連携してリスク評価と対応を考えることが必要になるのではないのでしょうか。ですので、どこまで記述するかという問題はありますが、上述の気候変動の影響と将来予測では配慮する必要があるように思います。また、そのような配慮を中小企業がどこまでどうやって行うか、支援しなくてよいでしょうか。</p> <p>③ 第4章の気候変動適応方針については、今回アクションプランの中に位置づけることとされました。第二次計画を3年後までに策定するにあたって、この方針をどのように展開していくのか（例えば計画に格上げするのか等）、今後検討した方がよいのではないのでしょうか。</p>

SDGs	<p>① SDGs の理念の取り込みは結構かと思えます。KPI（重要業績評価指標）等は第 2 回審議会以降での審議とのことですが、区内（公共、事業者、区民）への SDGs 浸透のため、分かりやすい表記と情報発信が必要かと思えます。</p> <p>② 基本目標ごとに、SDGs ゴールを設定すること、良いことだと思えます。</p> <p>SDGs は大田区の実情に必ずしも合わないもので、ローカライズする必要はよくわかります。ローカルゴールとメインゴール、サブゴールの関係が分かりにくかったです。メインゴール、サブゴールともに大田区にふさわしいものを設定するというのでしょうか。</p>
------	--

## 2 その他意見

- ① アクションプランの位置づけとして、現行計画と第二次計画をつなぐ計画として進めていくことは妥当だと思えます。留意点として、3年後に策定する第二次計画に向けて、今回のアクションプランを策定することとした理由やどのような位置づけにするのか明確にする必要があります。
- 例えば地球温暖化に関しては 2030 年に向けて対 2013 年度比で 46%温室効果ガスを削減することになります。関連施策については今後策定予定の国・東京都の温室効果ガス削減計画やエネルギー基本計画等を考慮することとなります。これらに基づき大田区としての対応を詰めていくこととなります。この過渡的な時期には、アクションプランを鋭意推進すると同時に、第二次計画に向けて大田区としての詳細施策を決定していくとの位置付けとすることが望ましいのではないかと考えます。
- いずれにしてもアクションプランの位置づけ等について基本的な考え方を審議会として共有することが重要になるのではないのでしょうか。
- ② 現行計画→アクションプラン→第二次計画へのスムーズな移行、一層の推進を期待します。また本計画と関連し、今後改訂を予定する各種計画との調整をお願い致します。
- ③ 資料 1 「5 関連法令・計画」について、アクションプランと関連する大田区の計画が図指されておりよいと思いました。これらの関連計画と整合性をどのようにとっていくのか、少し気になりました。計画期間が異なっているので、現行他計画を前提にしつつも、それを固定的に変えられないものとするのではなく、アクションプランが他計画の次期見直しを先取的に影響を与えていくような柔軟性があるとよいと期待しています。今回 SDGs とリンクさせますので、他計画も SDGs とリンクさせると、そのような柔軟でかつ整合的で目標指向的な関係ができると期待しています。
- ④ 区民・事業者・行政の個々とその連携によって、すべての環境の維持改善が図られるとの考えで、基本目標 A を分野横断とした事はより実態に即していると思うので賛成です。
- ⑤ アクションプラン並びに、基本目標実現のための取組に関しては、異存ございません。この取組を進めるにあたり、その前提条件として、SDGs を様々な機会を通して啓蒙する必要があると思えます。
- ⑥ アクションプランはコロナ禍のための緊急策定ではありますが、これによりむしろ区の環境施策の方向性を更に分かり易く明確化できると思えます。
- 特に新たな視点として SDGs 理念の取込みについては各目標を大田区目標に翻訳してゴール、指標を定めることで区民一人一人が参加しやすくなりますので、「環境課題の解決に向けたパートナーシップ」の推進に向けて、今後のご検討結果を期待しております。
- ⑦ アクションプランの各基本計画や施策内容に該当する SDGs の項目を当てはめての説明は分かり易くて良いアイデアだと思えます。
- ⑧ 基本目標 D-1 (2) 「地域美化活動の推進」に関連して、区民による自主的な清掃活動の大きな障壁の 1 つとして、回収ごみの処理が有ります。この部分への行政のさらなる支援を考えてはいただけないのでしょうか。